

2015 Spring



Photo:理事長 鶴田 克家 × 院長 鶴田 豊  
※本広報誌の文章・写真等の無断利用は固くお断りします。

## 新年度ごあいさつ

熊本がん診療医科歯科連携について

開放型病床開設

行事食のご紹介

H26年度データ

病院外来担当医表 (H27.4.1~)

<http://kakuyuukai.or.jp>

鶴田病院 鶴翔苑 検索



鶴田病院 公式フェイスブックページ

[www.facebook.com/kakuyuukai.tsuruta.hp](http://www.facebook.com/kakuyuukai.tsuruta.hp)

医療法人社団 鶴友会

〒862-0925 熊本市東区保田窪本町 10-112

鶴田病院

介護老人保健施設

メディエイト 鶴翔苑

通所リハビリテーション

居宅介護支援センター 鶴翔苑

鶴翔苑 訪問看護ステーション

訪問介護ステーション

熊本市東2地域包括支援センター

ささえりあ保田窪

# 地域包括ケアシステムの構築をめざして

医療法人社団 鶴友会  
理事長 鶴田 克家



春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年4月に父、鶴田克明の後を引き継ぎ、医療法人社団鶴友会の理事長となり1年が過ぎました。昨年度は消費税増税という、皆様の生活にとって非常に大きな出来事からスタートしました。これは「税と社会保障の一体改革」に伴う増税で、今後日本が突入する超高齢化社会に向けた国策であります。同時に我々医療人にとりましては、2年毎に行われる診療報酬改定の年でした。実質マイナス改定で医療業界にとっては非常に厳しいものとなったのですが、昨年度の法人の目標である「質の向上」というスローガンの元、職員一人ひとりの努力で仕事の効率化を図り、大きな影響を受けることなく1年が経過致しました。

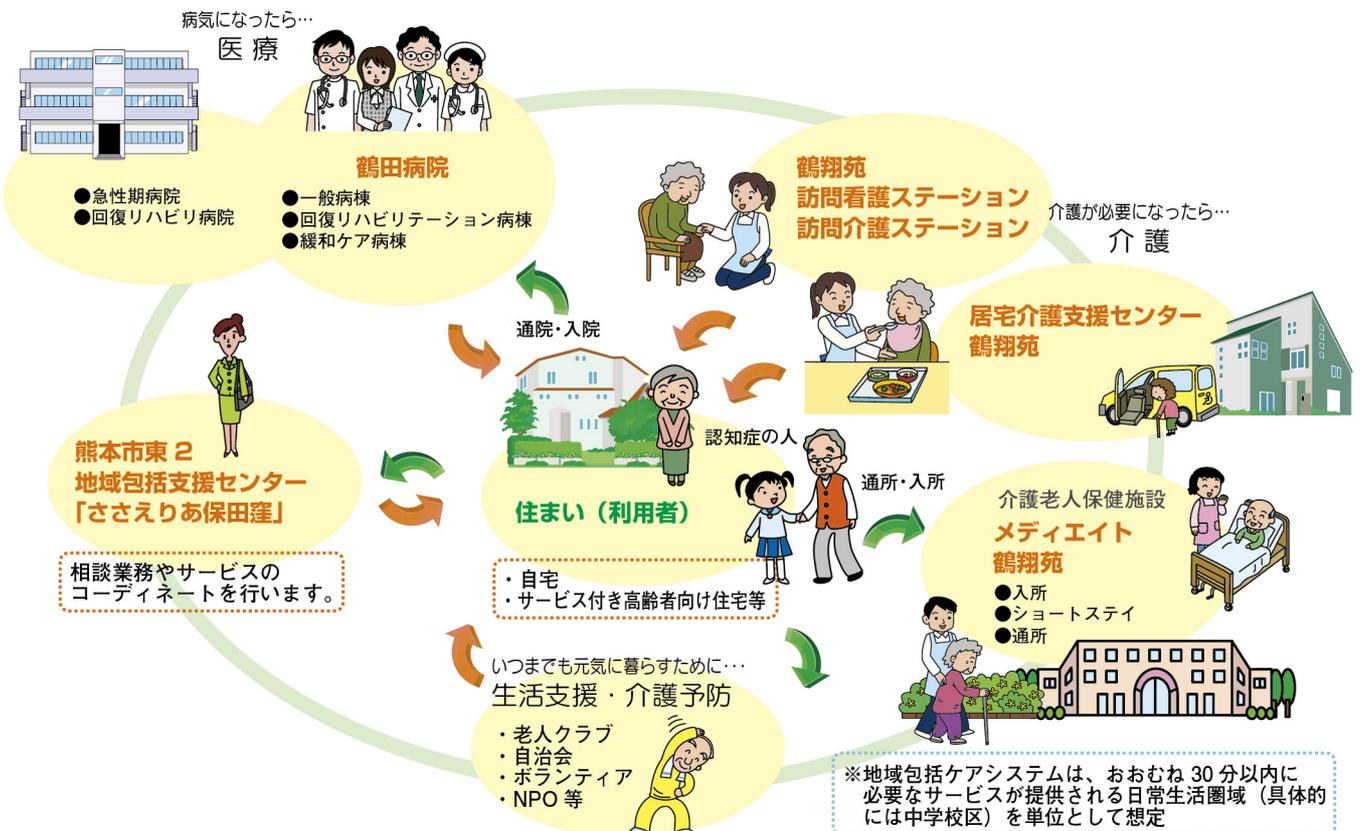
そして今年度は、3年毎に行われる介護報酬改定の年です。新聞報道などでもご存知の方もいらっしゃると思いますが、こちらにもマイナス改定となります。介護事業を運営する者にとって、昨年度の診療報酬改定同様、非常に厳しいものとなりました。同時に一部の利用者にとりましては負担増となり、皆様にとりまして

も

今まで通りのサービスが受けられなくなる事も予想されます。更にマンパワーの確保が困難となり、継続的に質の高いサービスの提供ができなくなるのではないかと、等多くの課題が出てくると思われま

す。厚生労働省は、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。当法人においては鶴田病院、鶴翔苑を中心に訪問看護、訪問介護、訪問リハビリテーション、地域包括支援センターを有し、法人内で連携して皆様の医療、介護、福祉ケアを提供することが可能です。もちろん、他の基幹病院、地域のクリニック、介護事業所と連携を取りながら、「地域包括ケアシステム」を構築していきたいと考えております。皆様方には、この地域に「鶴友会」があつて良かったと思つていただけるように職員一丸となって頑張つていきます。新年度を迎えお忙しいとは存じますが、健康にはくれぐれもお気配りされてください。

## 医療法人社団 鶴友会の地域包括ケアシステムイメージ





# 地域に密着した 近代化医療で貢献を

鶴田病院

院長 鶴田 豊



本年度より当法人の広報紙は、鶴田病院、鶴翔苑各々で発行していたものを、法人体で統合いたします。その目的は、地域の皆様との密で継ぎ目のない「地域包括ケアシステム」の構築が叫ばれている中で、当法人全体の施設や機能、他の医療機関や介護施設などとの連携の実際などを、より分かりやすくお伝えするためです。これにより地域で暮らす皆様の医療・福祉に、一層貢献できればと考えています。

2015年度初めにあたりまして、私からは鶴田病院の現在の機能と役割を説明いたします。2012年7月に新病院を開院し、ハード面の充実とともに、ソフト面での充実に努めてまいりました。これまで同様当院の役割は、「地域に密着した近代化医療を行っていくこと」と考えております。

### ①地域のかかりつけ医としての役割

当院には循環器内科・消化器内科・外科・整形外科・泌尿器科(透析)・緩和ケア内科(麻酔科)の専門医がおり、それぞれかかりつけ医としての役割を担っております。いわゆる生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症など)や関節の痛み、頻尿等、身近な疾患の外来診療から、入院治療まで行います。また外来・入院を要する患者さんの透析治療、人間ドックや検診による、病気の早期発見早期治療に貢献してまいります。

### ②中間施設としての役割

多様な疾患(脳卒中、骨折、心臓手術、心不全など)の急性期医療を終えた後の、さまざまな機能低下状態に対し、全身治療やリハビリテーションを行うてまいります。これにより早期社会・在宅復帰、介護施設等への復帰を目指します。

これらのさらなる充実を図り、地域の方々に安全で安心な、最良の医療を提供していくことを目指します。また関係する多くの医療機関、さらには施設等との



化学療法室



温熱療法室

### ③全人的がん診療

検診、内視鏡検査での早期がん診断。がん化学療法・温熱療法を外来・入院にて行います。さらに(癌性腹膜炎や肝硬変による)難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法(CART)や、外来・緩和ケア病棟でのがんの症状緩和治療を行ってまいります。



リハビリセンター

しっかりとした連携があつて初めて、患者さん・家族への本当の医療が可能になると考えます。この4月より開放型病床を5床設けました。この開放型病床はかかりつけの先生(登録医)が、主治医として入院中も関わることが出来ます。当院での診療から退院後まで、患者さんのかかりつけ医による、一貫性のある継続的な診療を受けることが出来ます。また入院時における共同指導(診療)により、安心感を得ることが出来ます。退院後も、入院時の経過をかりつけの先生が詳細に把握していることにより、より継ぎ目のない安心の出来る医療に繋げることが出来ます。変わりゆく時代を見据え、皆様から真に必要とされ、信頼される病院となるよう、今年度も継続して職員一同頑張りたいと思っております。この一年もより良き方向に発展していけるよう尽力してまいります。一層のご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

# 鶴田会長インタビュー

会長 鶴田 克明

——新年度(開院42周年)を迎えた感想を。

鶴田 〃初心忘るべからず〃という思いです。この保田窪の地で、住民の方々の健康を第一に医療の展開を図っていきたいと開院いたしました。当時、近隣は竹藪ばかり。利便性が悪くごつなる事かと思いましたが、これからは交通の要所であると考え選びました。開院後は大学の諸先輩方(先生方)が多くの患者さんを紹介してくださいました。とても感謝しています。また、当時は病院の上層階に住まいを構えていました。手術後や救急の患者さんにもすぐに対応ができ、とても



昼休憩時間を利用し、スタッフと1枚。

良かったと思います。地域の方々の為に  
— 新体制がスタートし1年。新理事長  
・院長に対し、エールをお願いします。



鶴田 患者さんはもちろん、職員にも優しく接してくれているのではないのでしょうか。とても嬉しく思っています。とても時代に合った医療・介護を提供し続け、これからも患者さん・利用者さんの為に邁進してくれるものと確信しております。

職員が40年間頑張ってきたから今があるという事を忘れず、次世代に繋げていってほしいですね。

最後に地域の皆さんへ向けてメッセージを。  
鶴田 本当に感謝の気持ちでいっぱい  
です。わたくしを信頼し、支持して下さい  
ありがとうございました。

そしてこれからも飛躍し続ける鶴田病院・鶴翔苑に対し優しく、時には厳しく、さらなるご支持をいただければ幸いです。

# 鶴翔苑生活の一日

鶴翔苑施設医 長谷川 芳秀

昨年8月からメディエイト鶴翔苑の施設医となった長谷川です。

現在鶴翔苑には約60名が2階と3階に入所され、皆さんハビリに励んでいます。今回は苑内での一日をどのように過ごされているかを追ってみましょう。

一日は夜明けの点灯が始まります。まず夜勤の看護・介護職員が各室を回り、バイタルサインをチェックします。6時30分になりますと早出の職員も加わって洗面、トイレ、着換えの介助を進め、自立している

人でも転倒事故などトラブルの無いように目配りをしての作業となります。このようにして清々しい朝を迎え、8時タイミングテーブルに配置された朝食を摂ることになります。この時自己摂取できる人、多少の介助を要する人など様々で、嚥下障害があつて胃瘻を造設している方には特別に経管用の栄養剤が注入されます。

食事は管理栄養士が各自の病状に合わせて食種や食材を決め、一人800〜1800キロカロリーが提供されています。

食事終了後は自由時間となり、フロアでテレビを見たり、居室に帰りベッドに横になったりして過ごすります。10時には再び集まって水分補給のためのお茶会を始めますが、昼食時間まで夫々のプログラムに沿って入浴やリハビリ、音楽療法、レクリエーションなども行っています。この時間が最も賑やかになります。

12時に朝食となり、朝食の時と同じように職員は、誤嚥などの事故に注意しながら色々な介助をしていきます。

食後12時40分には自由時間となり、ほとんどの人が午睡を取っていますが、朝と同じように入浴やリハビリなどもあり、特に15時からの音楽会やゲーム遊びには職員も加わってとても楽しんでいます。

18時から夕食が始まり、服薬、歯磨きなども済ませます。このころからご家族などお見舞いの人たちは次第に減って、職員も少なくなり、夜は静かに進んで行きます。そして21時の消灯と共に各室から寝息が聞かれるようになり、無事一日を終えることとなります。

苑内では催し物として毎月入所者の誕生日会を行っています。またご家族やボランティアの方にお手伝いして頂いて、季節ごとにお花見会や、運動会、観月会、餅つき、クリスマスなども催しています。毎回ほぼ40名の方が参加され大変喜ばれています。

以上鶴翔苑生活の一日でした。





### 常に成長できる看護部に

鶴田病院 看護部長 笠 千春

近年、当院患者さんの医療度も飛躍的に高まり、看護師に求められる知識や技術も、より専門性の高いものとなっております。著しい医療の進歩の中で社会を取り巻く環境も大きく変化しています。しかし、どんなに周囲が変わっても人の心は不変です。私たちは人の心に向き合っていることを忘れずに、希望を与える力を育み、一人の人間としても看護師としても豊かな感性を養いたいと思います。また、患者さんやご家族のご意見、お叱りの声にも真摯に耳を傾け、常に成長できる看護部でありたいと考えています。

### 師長就任ご挨拶

鶴翔苑介護科 看護師長 原田 和代

4月より鶴翔苑介護科看護師長になりました。私は、長い病院勤務の中で高齢者と関わるのが好きだなと思い介護の世界に足を踏み入れました。それが鶴翔苑との出会いでした。病院とは違う状況に戸惑う事も多かったのですが、ご利用者に「あなたが居るなら安心ね」と言っていて貰える時の喜びは、私にとって大きな原動力となっております。

入職時に比べると、ご利用者の平均年齢は、88歳、平均介護度3.6と高齢化が進んでいます。医療の必要な方も増え、より高い知識や技術が求められている事を実感する毎日です。また、昨年の月より鶴翔苑は、在宅強化型

今年度の看護部重点目標は①看護・

介護の質向上、②教育体制の整備、

③働きやすい職場づくりの3点です。

③働きやすい職場づくりの3点です。拠点病院と在宅医療の懸け橋としての役割を最大限に発揮できるように、安全な医療サービス、安心なケアの提供を目指します。そして今年度が新たな発展の一年となるように、挑戦・変革する組織を目指して取り組んで参ります。



の施設となりました。在宅復帰という本来の役割をしっかり担い、ご利用者が、住み慣れた自宅での生活を安心して続けられるようケアしていきたいと思えます。大切な今を大事に過ごして頂く為に医療と介護の連携・多職種による連携など積極的に行い、職員一同、力を合わせたケアの質の向上に努めていきます。



### 鶴田病院の緩和ケア

認定看護師として

緩和ケア病棟主任 松岡 サユリ

半年間の厳しい研修と、自己の看護観を再認識できた実習などを経て、緩和ケア認定看護師となりました。

その期間、温かく見守り応援していただいた皆様に本当に感謝しております。

当院緩和ケア病棟は温熱療法やCART、リハビリ等ができることを特徴としています。柔軟に患者さんのご希望に沿うことができる病棟として、看護の基本である思いやり、気配り、気遣いのできる看護師の育成に尽力しています。

当院緩和ケア病棟の理念である「患者さんやご家族に寄り添い、痛みや辛

さを和らげ、最期までその方らしく生

きることを支える」ために、これまでに培った技術と専門知識を生かし、スタッフへの教育や指導、また患者さんとそのご家族のサポートを充実していきたいと考えています。その上で「ここにきて良かった」と満足して頂ける病棟を目指し地域への発信にも努めていきたいと思っております。



### 回復期リハビリ

認定看護師を取得

回復期リハビリ病棟主任 上野 郁恵

回復期リハビリ病棟看護に特化した18

日間の研修と、4か月間の活動実績を積み審査により、無事に回復期リハビリ認定看護師を取得することができました。

当病棟では、入棟された時点から退院に向けて、医師・看護師・リハビリスタッフ・相談員などの多職種とチームで患者さんの支援を行っています。

その中で、看護師は患者さんと過ごす時間が一番長く身近にいますので、患者さんやご家族としっかりコミュニケーションをとる、思いを受け止めることが大切だと思っています。看護師の役



割は、患者さんとチームの橋渡し役となり、不安を抱えたまま退院されることのない様、退院後の生活を見据えたりリハビリ、入院生活の中での自立支援をしていくことだと思っています。

研修で学び得た知識や技術をスタッフへ発信し、看護の質向上を図り、当院を選び良かったと思っ頂ける様な病棟を目指していきたいと思えます。



牛島 隆 牛島歯科医院 院長



上妻 精二 鶴田病院 緩和ケア病棟長



第3回鶴田病院がん診療・緩和ケア地域連携研修会

# 熊本県がん診療医科歯科連携について

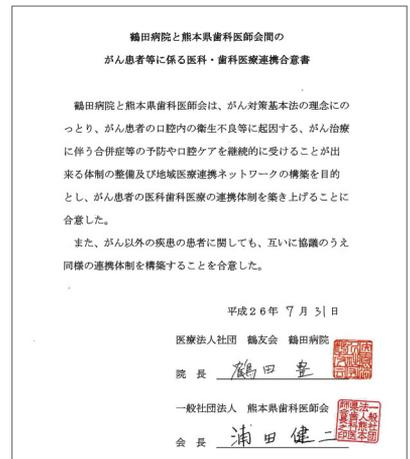
熊本県歯科医師会 牛島 隆

去る1月23日(金)第3回鶴田病院がん診療・緩和ケア地域連携研修会において、標記の内容について講演させていただきました。近年、がん治療の支持療法としての口腔ケアの役割が多くの研究から明らかになってきていることを踏まえ、がん治療を受ける患者さんについて、がん治療を受ける病院と歯科が連携をして、口腔ケア等の歯科的な対応を行うことで、がん治療に伴うさまざまな副作用や合併症を予防しようとするものです。

その目的は大きくわけて3つあり、1つ目は、がんの手術をする際にお口の中が汚れていることで起きる誤嚥性肺炎やさまざまな合併症を、手術の前に歯科で口腔ケアを受けて頂くことで予防しようというものです。2つ目は抗がん剤などの化学療法の副作用でおきる口内炎や、唾液が出なくなる口腔乾燥、味覚障害などの副作用を予防、症状の軽減を図るものです。また、がん治療で使用するお薬のなかには、顎の骨を壊死させるような副作用をもつものもあり、お薬を使用するまえに歯科と連携をして、必要な歯科治療を済ませてからお薬を使用していただくように連携をするというものです。また3つめは緩和ケアにおける口腔ケアで、痛みを取り除く事以外にも口の中にさまざまな不快症状がでているものを軽減し、口の中の痛みだけでなく、食べられない、喋れない、笑えないなどお口に関するさまざまな苦痛を取り除くことが目的です。

現在熊本県内のがん診療病院23ヶ所と熊本県歯科医師会ががん患者さんの医科歯科連携を行い、口腔ケアなどが必要な方について、病院から連携に登録している歯科へ紹介いただいております。その数は平成26年12月末で700名を超えており、鶴田病院とも平成26年7月に連携をするということで合意書の取り交しを行いました。熊本県は元来地域連携が活発に行われている地域であり、多くの医科関係者の積極的な連携の協力により、この医科歯科連携は全国都道府県の中でもかなり進んでおります。

「口は健康の入り口」と言われておりますし、生きる上で「食べる」ということは、病気に立ち向かうにも大変重要です。今回このようなお話をさせていただく機会を与えていただいた鶴田豊院長をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げますと共に、今後多くのがん治療を受ける患者さんのためにも、この連携が益々充実するように私共歯科も頑張りますので、ご協力をお願いしたいと思います。



医科歯科連携合意書



# 開放型病床を開設いたしました

当院では、地域のかかりつけの先生方との連携を更に深めるべく、新たに4月1日より開放型病床を開設いたしました。先生方との共同診療により患者さまがより安心して入院での医療を受けることができ早期退院に繋がることを望んでおります。

## 開放型病床とは？

当院の施設・設備を地域のかかりつけの先生方にも使っていただけよう開放し、当院の医師と共同して診療、検査を行うことのできる病床です。

## 患者さまのメリットは？

かかりつけの先生方と当院の医師が協力して、通院から入院、退院までの一貫した診療を行うことで、今まで以上に継続かつ合理的で安心できる医療を受けていただくことができます。また、退院後には再び、かかりつけの先生の診療を受けることができます。

## 先生方のメリットは？

患者様が入院中に適宜訪床することができ、当院の医師と診療経過や方針などの相談をすることで、患者様の病状を把握することができます。(開放型病院共同指導料350点1日につき1回算定可)通院から入院・退院そして通院と一貫した診療を継続いただけます。

## 開放型病床を利用するには？

当院での開放型病床で共同指導を希望される場合は、事前に当院へご登録とご契約が必要となります。当院へのご登録を希望される場合は下記の連絡先までご連絡ください。



開放型病床についてのご登録・お問い合わせは  
**地域連携・相談支援センター**  
(古澤・永木までお問い合わせください)

TEL.096-285-6755 (直通)  
FAX.096-382-0573 (直通)  
renkei-hp@kakuyuukai.or.jp

## 平成26年度 熊本県老人保健施設大会 平成27年2月6日(金) ホテル熊本テルサ

「平成26年度熊本県老人保健施設大会」が平成27年2月6日(金)にホテル熊本テルサで行われました。鶴翔苑からも日頃の施設でのケア・取組等に関して5題、発表しました。



小林 真寿子(音楽療法士)

介護老人保健施設の看取りにおける音楽療法士の役割と考察～事例Aさんの個別音楽療法を通じて身体的・心理的つながりを考える～



建寄 香織(通所リハビリテーション/介護福祉士)

自主制作レクリエーションDVDの効果と考察～ご利用者と職員からのアンケートを通してみてきたもの～



木村 あゆみ(通所リハビリテーション/介護福祉士)

ぬり・ハビリ～学び帳からはじまった塗り絵がなんと芸術に～



神鳥 拓耶(理学療法士)

認知症短期集中リハビリ評価方法の一案～行動観察記録を通して～



黒木 恵美子(入所/看護師)

認知症高齢者の在宅復帰に向けた取り組み～生活動作に着目したリハビリを実施して～



今後も様々な取組を行いご利用者の生活機能の維持・向上を図り、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援していきます。



## 鶴翔苑通所リハビリテーション 定員80名に増員

鶴翔苑通所リハビリテーションは平成26年11月より定員を60名から80名に増員しました。医師の指示のもと、理学療法士・作業療法士が個々にあったプログラムを作成し、リハビリテーションを提供しています。

また、音楽療法・学習療法・書道・折り紙・編み物・生け花・フラダンス・絵手紙・レクリエーション等の活動を専門の職員・地域のボランティアの方と行っています。今後も様々な取組を通じて、ご利用者の心身機能の維持・向上を図り、在宅での楽しく安全な生活の支援を行って行きたいと思っております。



## メディエイト鶴翔苑は 「在宅復帰強化型老健」です

メディエイト鶴翔苑は平成26年9月より、「在宅復帰強化型老健」になりました。鶴翔苑では、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう在宅復帰に向け様々な支援を行っています。

入所前後訪問による在宅生活を見据えた施設プランの作成、短期集中リハ・認知症短期集中リハの提供、歯科衛生士等による口腔・栄養管理の支援、退所前後訪問による退所前の調整、退所後のフォロー等を行っています。

今後も多職種の連携を強化し、地域包括ケアシステムの中核を担うべく、より質の高いサービスの提供に努めてまいります。



## BOYグループ訪問美容車のご紹介

訪問美容BOYグループ・アイさんの訪問美容車のご紹介です。

毎月第2火曜日、メディエイト鶴翔苑前に訪問されます。

佐賀大学と共同開発した美容専用の多機能車イスが搭載された車は、リフトで車いすごと乗降できる優れもの。代表スタッフは、美容師としてのキャリアも長く、初任者介護研修を修了し、施設内現場で指導を受けられているそうです。地域の方もご利用いただけますので、ぜひ一度訪問美容車をご体験ください。



予約制

お問い合わせは  
鶴翔苑まで  
TEL.096-387-8181

はじめまして。歯科衛生士の米本 寿子です。  
これまで、一般歯科医院で治療や予防に携わってきました。鶴翔苑では、口腔ケアを担当させていただいています。  
お口は健康の入口です。口の中には300種以上の細菌がいます。身体の中では一番菌が多い所です。細菌はむし歯を作ったり、歯周病を起こしたりします。また、全身の病気にも深く関わっていると言われていて、口腔ケアはとても大切になります。  
口腔ケアとは、口腔内の疾病予防、健康保持、リハビリテーションによりQOL(生活の質)の向上を目指した科学であり、技術です。具体的には、健診、口腔

### お口は健康の入口です

歯科衛生士 米本 寿子

清掃、義歯の着脱と手入れ、咀嚼、摂取、嚥下のリハビリ、歯肉、頬部のマッサージ、食事の介護、口臭除去、口腔乾燥予防などがあります。色んな分野の専門職のスタッフと協力しながら、ご利用者のお口の健康のお手伝いが出来ればと思っています。  
お口の事でご心配事などあれば、なんでも構いませんので気軽に声をかけてください。





# 行事食のご紹介



春



夏



秋



冬

- 安全・安心な美味しい食事
- 心のこもった食事サービス

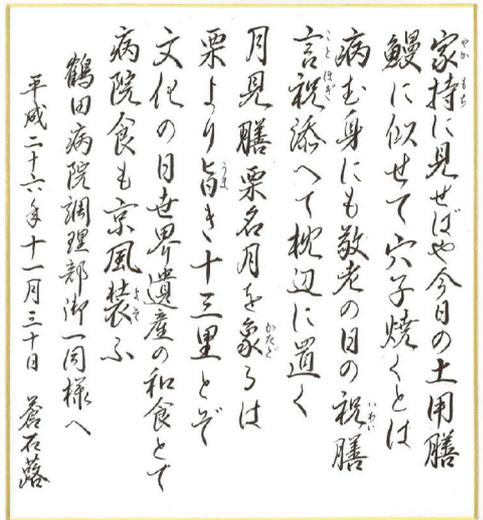
- 治療の一環として食事提供
- 地産地消への取り組み

## 患者さんからいただいた色紙です

右の色紙は昨年11月に退院された患者さんから頂いた色紙です。  
数か月のご入院中、食事へのご感想をご自分の体調に合わせ食札に書き添えて下さり、またその時折にふれ、句を詠まれておりました。そのたびに私達栄養部は感激したものでした。

私達が心がけていた安心・安全でおいしく食べて頂くこと、患者さんの治療にそえる食事をどう表現していくのかということへのお返事のように思えました。これからも少しずつではありますが、ご入院生活のやすらぎをお手伝い出来ればと思います。ありがとうございました。

栄養部部长 安田洋子



## ヘルシークッキング

### 鯛の煮付



### 真子の含め煮



- 材料 (4人前)
- 鯛.....4切れ(1切80g程度)
- 水.....ひたひた
- 調味料
- 濃口醤油.....大さじ2
- 赤酒.....大さじ2
- 砂糖.....お好みで小さじ2
- 筍の水煮...160g 生わかめ...80g

- 作り方
- ①魚はたっぷりの沸騰した湯に水1/2カップを加え、霜降りにする。冷水にとり、手早く洗う。ペーパーで水気をふきとる。
- ②広口の鍋に調味料とたひたの水を入れ強火にかける。
- ③煮立ったら魚を重ならないように並べる。アクをとり、適当な大きさに切った筍とわかめも一緒に煮る。落とし蓋をして15分程度、途中煮汁をかけながら煮る。煮汁に軽くトロミがついたら火を止める。
- ④皿に盛り、やや右手前に筍とわかめを添え、煮汁をかける。

エネルギー 1人当たり: 200kcal  
塩分 1人当たり: 1.7g

- 材料 (ひと腹約6人分)
- 魚卵.....200g
- だし.....350cc ー 赤酒.....60cc
- 調味料
- 酒.....大さじ2 ー 薄口醤油...大さじ2
- 料
- 砂糖.....大さじ1 ー 塩.....ミニさじ1 (1g)
- 花形人参.....12枚 (1人2枚付け)
- 絹さや.....18本 (1人3本付け)
- 生姜.....10g

- 作り方
- 下準備: 絹さやは塩茹ですておく。
- ①真子を包丁で縦に切り、一口大に横に切る。熱湯で表面が固まる程度に茹でる。水にとり、洗って臭みをとる。生姜は皮をこそぎとり、細小切りにしてさっと水にさらす。
- ②調味料を合わせ、①と花形人参を煮る。
- ③真子と絹さや、花形人参を盛り、生姜を天盛にする。

エネルギー 1人当たり: 66kcal  
塩分 1人当たり: 1.1g



## 栄養部のご紹介

鶴友会栄養部は、26名で鶴田病院・メディエイト鶴翔苑のお食事を提供しています。

鶴田病院外来待合室には「栄養部便り」という掲示板を設置しています。時期にあった栄養のニュースなどを掲示していますので、待ち時間の間にぜひご覧ください。  
また、糖尿病、高血圧、透析など、持病がある方。最近体重が減ってきたなど、日常のお食事でお悩みの方は外来にお申し込みください。

# おひさま保育園



4月から「おひさま保育園」で主任をさせていただくことになりました。初日は不安と期待でいっぱいでしたが、日々、子供たちと過ごす中で安心と喜びを感じています。

4月4日(土)に、“入園・進級式”を行いました。園児8名、保育士3名、看護師2名でスタートとなりました。当日は、新入園児さんもいて、みんなちょっぴりドキドキな様子でした。保護者の方にもたくさん参加していただき、楽しく行いました。

職員一同、協力しながら日々の生活の中で子供たち一人ひとりの個性を大切に、自主性や相手を思いやる気持ちなどを育てていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

おひさま保育園 伊藤 琴絵

## 施設紹介

### ●利用資格

医療法人社団鶴友会 職員の子供

### ●年齢

0歳児(生後2ヶ月)～6歳児(小学校就学前まで)

### ●開園日時

開園日/月曜日～土曜日、(夜間一月2回程度)

基本保育時間/午前8時～午後7時

夜間保育時間/午後7時～翌日午前8時 ※利用園児がない場合は休園

### ●食事

昼食は給食を提供。おやつは午前、午後の2回

### ●リトミック体操教室

週行事として行い、子供たちの体力・感性を養っています。

### 毎月お楽しみ行事を開催しています！

節分・端午の節句(こいのぼり)・七夕・クリスマス…など、季節に応じた行事を開催しています。

子供たちが季節を感じ、絵本や童謡を通じ、昔ながらの習わしに親しみ、好奇心・想像力・理解力を育みます。

保護者にも参加できる機会を設けており、

日常の子供たちの様子や成長を感じることができます。

### ●年間行事スケジュール例

通年	誕生会		
4月	進級式・お花見	5月	子供の日
7月	七夕まつり	8月	ふれあい遊び
10月	秋の親子遠足	11月	クッキング
1月	お正月遊び	2月	節分
		6月	保育参観
		9月	運動会
		12月	クリスマス
		3月	ひなまつり

## 新たな仲間が増えました！ ～鶴友会新入職員紹介～

春爛漫の4月1日、夢と希望を胸に抱き、新入職員が入職しました。新職員を代表して看護部の山下由樹子さんが「先輩方に迷惑をおかけしますが、素直な気持ちと謙虚な姿勢で頑張ります」とあいさつ。新人オリエンテーションでは、社会人としての心構えや医療・介護制度などを学び、病院・老健の各部署を訪問しました。

新入職員一同、精一杯頑張っていきますので、あたたかいご声援のほどよろしくお願いいたします！



## 鶴友会で“やりがい”見つけれませんか。 職員募集のお知らせ



ホームページからも  
応募可能です！

### [ 募集職種 ]

- 〈 鶴田病院 〉医師、薬剤師、看護師、ケアワーカー
- 〈 メディエイト鶴翔苑 〉看護師(入所)、作業療法士(リハビリ)
- 〈 訪問看護ステーション鶴翔苑 〉看護師

その他の職種の募集、各種制度(支度金、奨学金)などについても、お気軽にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

人事採用担当:管理部 杉本 Tel:096-382-0500  
Mail:turuta-hp@kakuyuuikai.or.jp



平成26年度 鶴田病院診療実績 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

患者数、健診・ドック、内視鏡、治療、リハビリ		
項目		件数・単位
外来患者数	延外来患者数	25,554
	延実患者数	12,064
入院患者数	延入院患者数	34,682
健診関連	事業主健診	851
	生活習慣病予防検診	581
	人間ドック	360
内視鏡検査	上部消化管(胃)	1,435
	下部消化管(大腸)	384
治療	温熱療法	1,374
	化学療法	172
リハビリテーション実績 (1日平均単位数)	運動器リハビリテーション	151.1単位
	呼吸器リハビリテーション	8.8単位
	脳血管疾患リハビリテーション	129.4単位
	心大血管疾患リハビリテーション	13.8単位
	がん患者リハビリテーション	56.0単位

手術		
手術名		件数
外科手術	腹水濾過濃縮再静注法(CART)	72
	ヘルニア修復術(鼠径・臍) (内 腹腔鏡)	42 (37)
	胆嚢摘出術(腹腔鏡下・開腹)	6
	腹腔鏡下虫垂切除術	2
	痔核手術	2
	胃瘻造設術	8
内視鏡手術	内視鏡的ポリープ切除・粘膜切除術 (胃・大腸)	45
	内視鏡的胆道ステント留置術	11
	内視鏡的消化管ステント留置術	8
	その他内視鏡的消化管手術	15
泌尿器手術	上部尿路系手術(腎・尿管)	1
	下部尿路系手術(膀胱・尿道)	8

平成26年度 メディエイト鶴翔苑利用実績 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目		件数	
入所	延利用者数		19,430
	入所者数	在宅	34
		鶴田病院	28
		他病院	6
		社会福祉施設等	1
	退所者数	在宅	32
		鶴田病院	18
		他病院	4
		特養	1
		社会福祉施設等	6
死亡		10	
短期入所	延利用者数	1,813	
通所リハビリ	延利用者数	16,281	
居宅	延利用者数	1,939	
訪問看護	延利用者数	介護	705
		医療	210
訪問介護	延利用者数	762	



外来診療	受付時間		診療時間		連絡先		
	平日	土曜日	午前	午後	TEL 096-382-0500(代表)		
	午前	午後	8:40~12:00	13:50~17:30			
消化器内科 内科	つるた かついえ	院長 鶴田 克家	消化器内科	つるた かついえ	院長 鶴田 克家	消化器内科	消化器内科
外科	つるた ゆたか	院長 鶴田 豊	外科	つるた ゆたか	院長 鶴田 豊	外科	外科
総合診療科 外科	つるた かつあき	会長 鶴田 克明	総合診療科	つるた かつあき	会長 鶴田 克明	総合診療科	総合診療科
循環器内科	名誉院長 尾畑 けんじ	尾畑 憲司	循環器内科	名誉院長 尾畑 けんじ	尾畑 憲司	循環器内科	循環器内科
泌尿器科 人工透析 がん温熱療法	かわばた ゆきつぐ	泌尿器科部長 川畑 幸嗣	泌尿器科	かわばた ゆきつぐ	泌尿器科部長 川畑 幸嗣	泌尿器科	泌尿器科
整形外科	ひらい やすひろ	整形外科部長 平井 康裕	整形外科	ひらい やすひろ	整形外科部長 平井 康裕	整形外科	整形外科
緩和ケア内科 麻酔科	こうづま せいじ	麻酔科部長 上妻 精二	緩和ケア内科	こうづま せいじ	麻酔科部長 上妻 精二	緩和ケア内科	緩和ケア内科
外科	やまぐち ゆうじ	外科部長 山口 祐二	外科	やまぐち ゆうじ	外科部長 山口 祐二	外科	外科

月～金曜の午後の外来診療も必要に応じて対応いたします。 ※手術・病棟診療などによる変更が発生する場合があります。 ※週によって変更になる場合があります。



## 鶴田病院内 ギャラリースペースのご案内

病院1階(放射線科前)廊下に院内ギャラリーを設置しました。地域の方々が制作された作品を展示するスペースとして、無料開放いたします。詳細は総務課までご連絡ください。

お問い合わせは 直通TEL.096-234-6550